

「地域連携教育」に係る推進指標の達成状況について

指標名	策定時の値 (令和4年度)	実績値 (令和7年度末)	成果及び課題(成果○、課題●)	目標値 (令和9年度)
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 54.4% 中 46.4%	小 64.7% 中 50.5%	○ 小・中学校とともに増加しており、児童生徒の地域・社会に目を向けていこうという意識の高まりがうかがえる。 ● 中学校の増加の割合が低い。地域と連携・協働した活動に参画したことによる自分自身の伸びを、実感できるようにする必要がある。	小 70.0% 中 70.0%
学校運営協議会等において、児童生徒を交えて協議を行うとともに、児童生徒の意見や思いを反映させて、「学校・地域連携カリキュラム」の見直し等を行った学校の割合(公立小・中学校)	小 27.8% 中 51.8%	小 47.0% 中 66.0% (R6)	○ めざす子ども像や子どもに身に付けさせたい資質・能力に関わるテーマで、児童生徒を交えて熟議を実施した小・中学校が9割を増えたことで、児童生徒の意見や思いを学校経営に反映させようとする意識が高まった。 ● 児童生徒の意見や思いを「学校・地域連携カリキュラム」に反映させ、児童生徒や学校、地域の実態等に応じた探究課題が設定できるようにする。	小 100% 中 100%
学校・家庭・地域が連携して、子どもと地域の大人の協働的な学習活動を計画的・組織的に実施している学校の割合(公立小・中・高・特別支援学校等)	0.6%	33.8%	○ 「地域連携教育再加速化サポートチーム」の体制充実により、学校や子どものニーズに対応できる全県的なコーディネートを実施することができた。 ○ 県内7つの小・中学校が「子どもが地域の先生プロジェクト」に取り組み、子どもが主体となって、地域の人と人をつなぎ、子どもも大人も学び合う取組を実施することができた。また、今年度の好事例を動画としてまとめ、全県への普及を促進することができた。 ○ 県立高校等で、企業・大学など、地域・社会と連携した「総合的な探究の時間」のカリキュラムを開発し、各学校・学科の特色や専門性を生かした取組を実施したことで、実社会や実生活において生きて働く資質・能力の育成をめざすとともに、地域・社会の活性化に貢献することができた。 ○ 総合支援学校において、地域連携教育再加速化サポートチームを活用することで、幅広い世代とのつながりをさらに拡充、強化することができた。 ● 「ものづくり」「サービス」「スポーツ」等、総合支援学校の教育課程と結びつけた体験的な学習活動に地域の方も参加できる機会の拡充と、周知の方法を検討する必要がある。 ○ 「地域連携教育再加速フォーラム」に、小・中・高・特支の児童生徒や地域住民を含む約1000人が参加し、フォーラム参加者全員による熟議等を通して参加者のつながりが深まった。	80.0%
地域協育ネットコーディネーター養成講座修了者数(累計)	541人	672人	○ 修了者数は堅調に増加している。引き続き市町教育委員会と協力しながら、地域住民へ受講の呼びかけを行う。	800人

(参考)

「山口県教育振興基本計画」

(4)学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/201521.pdf>



山口県の地域連携教育

(地域連携教育推進課ホームページ)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/183/26646.html>

